

令和6年度 第1回 香川県埋蔵文化財センター考古学講座

「讃岐地域における東播系須恵器鉢の流通」を開催します

香川県埋蔵文化財センターでは、遺跡の調査・研究を行っており、その成果に基づく考古学講座を開催しています。

東播系須恵器^{とうばんけい すえき}は平安時代末期から室町時代にかけて、現在の兵庫県東南部(明石市・神戸市・三木市など)で製作された須恵器です。なかでも調理に用いる鉢は西日本一帯に広く分布しているため、当時の流通を考える上で欠かせない資料です。

今回の講座では、讃岐地域で見つかった東播系須恵器鉢の分布などに注目し、その流通について紹介します。



香川県内で出土した東播系須恵器鉢

(左:讃岐国府跡;坂出市 11世紀後葉 右:西打遺跡;高松市 13世紀後半)

- 1 日時 令和6年8月17日(土)
10時~11時30分
- 2 会場 香川県埋蔵文化財センター講習室
坂出市府中町南谷 5001-4
- 3 講師 谷本 峻也(香川県埋蔵文化財センター調査課兼資料普及課主任技師)
- 4 聴講料 無料
- 5 定員 40名(申込先着順)
- 6 申込方法 電話・メールでお申し込みください。
メールの場合はお名前、連絡先の記入をお願いします。
電話 0877-48-2191(平日8時30分~17時15分)
メール maibun@pref.kagawa.lg.jp